彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, January 2026

課長：佐藤 裕久　H. Sato
幹事：下元 繁男　S. Shimomoto

○ 1月の状況（佐藤）

彗星課メーリングリスト(oaa-comet ML、以下同じ）などに次のような報告があった。

☆ C/2022 N2 (PANSTARRS) (写真 a)

私(須賀川:Q23)は、1 月 10.37 日 UT、0.25-m f/4.5 反射＋CCD(以下同じ)で全光度を 14.2 等と測定した。集光した 1.1'のコマと p.a. 252° に 5.8'のかすかな尾が見えた。

吉見政義氏(福知山:903)は、1 月 16.54 日 UT、0.25-m f/6.3 Schmidt-Cassegrain ＋CCD(以下同じ)で全光度を 14.2 等と観測したとのこと。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、井狩康一氏(滋賀県守山市:900)、嶋邦博氏(五藤天文台,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ C/2025 R2 (SWAN)

門田健一氏(上尾:349)は、1 月 3.40 日、15.45 日 UT、0.25-m f/5.0 反射＋CCD(以下同じ)でそれぞれ全光度を 14.0 等、15.5 等と観測したとのこと。

吉見氏は、1 月 6.46 日、18.46 日 UT、それぞれ全光度を 14.3 等、15.3 等と観測したとのこと。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、井狩氏(守山:900)、吉本勝巳氏(山口県平生町:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ C/2026 A1 (MAPS) = PCCP 6AC4721

1 月 15 日、筆者から「NEOCP 6AC4721 が発見された彗星はクロイツ群に属する彗星のようです」と案内した。

同日、織部隆明氏(佐治天文台)から「情報、ありがとうございます。見た時に思わず、叫んでしまいました(^^; ぜひとも明るくなってほしいですね」とのコメントがあった。

同日、筆者から「NEOCP 6AC4721 と書きましたが、1 月 13.50 日 UT に PCCP にも掲載されていました。うっかりしていました」とコメントした。

私は、1 月 23.49 日 UT、全光度を 17.9 等と測定した。集光した 9″のコマが見えた。

門田氏は、1 月 27.47 日 UT、全光度を 17.8 等と観測したとのこと。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、吉本氏(平生:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ C/2026 B2 (Sun-Gao) = PCCP GS25115

門田氏は、1 月 21.85 日、29.86 日 UT、それぞれ全光度を 14.7 等、15.9 等と観測した。21 日は中央集光した 1.0'のコマが

あるが、尾はないとのこと。

私は、1 月 24.84 日 UT、全光度を 15.7 等と測定した。集光した 24″のコマが見えたが、尾は見えなかった。

1 月中、国内で位置観測したのは他にはなかった。

☆ 24P/Schaumasse (写真 b)

門田氏は、1 月 11.79 日 UT、全光度を 9.2 等と観測したとのこと。

高橋俊幸氏(栗原:D95)は、1 月 16.72 日 UT、0.25-m f/4.2 反射+CCD(以下同じ)で全光度を 10.4 等と観測した。集光した 7.3’のコマがあるとのこと。

私は、1 月 24.73 日 UT、全光度を 9.1 等と測定した。強く中央集光した 8.2’のコマと p.a. 293˚ に 8.4’の尾が見えた。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原秀憲氏(栃木県宇都宮市:Q21)であった。

☆ 29P/Schwassmann-Wachmann

高橋氏は、1 月 16.71 日 UT、全光度を 12.3 等と観測した。集光した 5’.2 のコマがあるとのこと。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ 210P/Christensen (写真 c)

門田氏は、1 月 11.86 日 UT、全光度を 13.9 等と観測したとのこと。

吉見氏は、1 月 14.88 日、23.80 日 UT、それぞれ全光度を 13.7 等、14.6 等と観測したとのこと。

高橋氏は、1 月 16.80 日 UT、全光度を 14.0 等と観測した。集光した 2.1’のコマと p.a. 295° に 3.8’のかすかな尾があるとのこと。

私は、1 月 24.76 日 UT、全光度を 15.7 等と測定した。集光した 0.4’のコマと p.a. 292° に 1.8’の尾が見ええた。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)であった。

☆ 240P/NEAT

私は、1 月 10.42 日 UT、全光度を 13.4 等、B 核を 15.7 等と測定した。それぞれ強く集光した 1.6’、0.6’のコマと p.a. 90° に 2.8’、0.5’の尾が見えた。

織部隆明氏(佐治:867)は、1 月 9.53 日 UT、1.03-m 反射＋CMOS で V 光度を 13.3 等、B 核を 16.2 等と観測した。それぞれ視直径は 1.6’、0.5’で p.a. 87° に 1’の広い尾が、p.a. 85° に 0.2’の尾があるとのこと。

吉見氏は、1 月 16.54 日 UT、全光度を 12.9 等。16.51 日 UT、B 核の全光度を 15.8 等と観測したとのこと。

1 月中、国内で位置観測したのは他に、井狩氏(守山:900)、吉本氏(平生:P87)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

☆ 3I/ATLAS (写真 d)

私は、1 月 10.64 日 UT、全光度を 12.0 等と測定した。強く集光した 2.4’のコマと p.a. 103° に 2.0’のアンチ・テイルが見えた。

吉見氏は、1 月 14.78 日、23.56 日 UT、それぞれ全光度を 11.3 等、12.0 等と観測したとのこと。

高橋氏は、1月16.56日、24.44日UT、それぞれ全光度を11.9等、12.5等と観測した。それぞれ集光した5.5'、3.9'のコマとp.a. 97°、99°に4.5'、3.5'のアンチ・テイルがあるとのこと。

1月中、国内で位置観測したのは他に、織部氏(佐治:867)、井狩氏(守山:900)、杉山行浩氏(神奈川県平塚市:D88)、吉本氏(平生:P87)、山口義昭氏(大阪府堺市:Q02)、嶋氏(五藤,八ヶ岳:Q14)、野原氏(南宇都宮:Q21)であった。

○ 1月に発見を確認した彗星

符号、名前、発見(UT)、光度等は次のとおり。詳細はMPEC、CBETを参照。彗星名の後につけたMPCコードは、日本人の確認者のコードで、Q62-1、U94-0、X07-0佐藤英貴氏、P87吉本勝巳氏、349門田健一氏、Q23佐藤裕久である。*は恒星状。

① C/2025 X1 (PANSTARRS)
発見: Pan-STARRS1 (F51)
2025年12月12.6日、21.0等
(MPEC 2026-A15、CBET 5650)

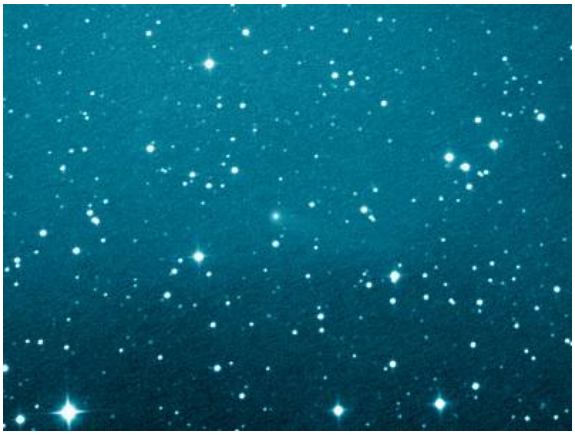
② P/2025 Y2 (PANSTARRS) X07-0
発見: Pan-STARRS2 (F52)
2025年12月27.6日、20.9等
(MPEC 2026-A121、CBET 5655)

③ C/2025 Y3 (PANSTARRS) Q62-1
発見: Pan-STARRS1 (F51)
2025年12月27.4日、21.6等
(MPEC 2026-B128、CBET 5657)

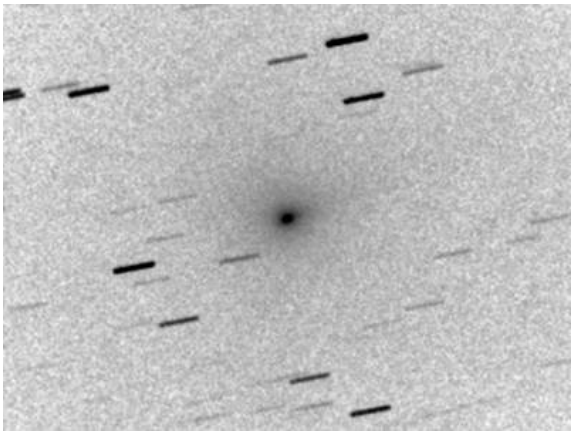
④ C/2026 A1 (MAPS) P87、X07-0
発見: MAPS Survey (W94)
2026年1月13.2日、17.8等
(MPEC 2026-B129、CBET 5658)

⑤ P/2026 B1 (PANSTARRS) X07-0*
発見: Pan-STARRS2 (F52)
2026年1月17.4日、20.6等
(MPEC 2026-B202、CBET 5659)

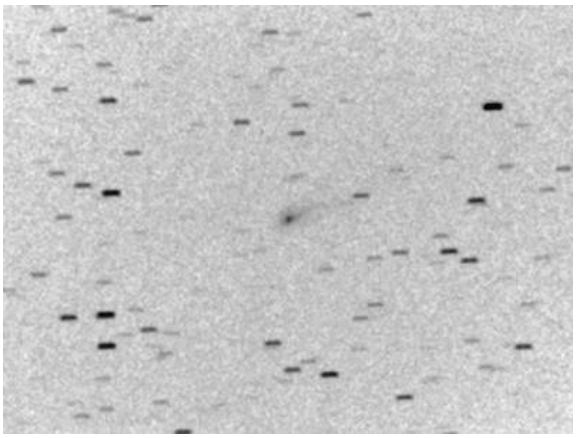
⑥ C/2026 B2 (Sun-Gao) 349、U94-0、Q23
発見: 孫国佑、高興 (N86)
2026年1月19.0日、15.5等
(MPEC 2026-B203、B205、CBET 5660)



（写真 a） C/2022 N2 (PANSTARRS)
2026,01,10 17h55.8m-18h41.3m (JST)
exp.90×29 0.25-m f/4.5 反射 + CCD
福島県須賀川市 佐藤裕久



（写真 b） 24P/Schaumasse
2026,01,02 03h06.9m-38.2m (JST)
exp.60s×30 Q150 600-mm 533MC
三重県名張市 田中利彦氏



（写真 c） 210P/Christensen
2026,01,02 04h33.9m-05h05.3m (JST)
exp.60s×30 Q150 600-mm 533MC
三重県名張市 田中利彦氏



（写真 d） 3I/ATLAS
2026,01,10 23h56.4m-24h22.4m (JST)
exp.30s×50 0.25-m f/4.5 反射 + CCD
福島県須賀川市 佐藤裕久

○ 主な光度等観測報告

2026	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2022 N2 (PANSTARRS) (写真 a)											
Jan.	16.56	14.4	1.0′	-	7.0′	255°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.49	14.5	1.0	-	7.0	255	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.46	14.8	1.0	-	7.0	255	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2022 QE_{78} (ATLAS)											
Jan.	16.73	14.4	0.6′	-	8.0′	250°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.75	14.3	0.6	-	9.5	250	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2024 T5 (ATLAS)											
Jan.	16.49	12.8	0.4′	-	0.5′	230°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 L1 (ATLAS)											
Jan.	20.83	15.1	0.3′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 Q3 (ATLAS)											
Jan.	15.43	15.8	0.2′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	16.47	14.1	0.2′	-	0.8′	30°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.43	14.7	0.2	-	0.8	30	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
C/2025 R2 (SWAN)											
Jan.	16.46	14.4	0.8′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.43	15.9	0.8	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.42	16.4	0.8	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
24P/Schaumasse (写真 b)											
Jan.	15.77	9.4	6.3′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
	16.81	10.8	9.0	-	>9.0′	290°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.77	9.4	6.4	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
	17.80	10.3	9.0	-	>9.0	285	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.77	11.9	9.0	-	>9.0	285	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.79	10.1	9.0	-	>9.0	285	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.76	9.3	6.7	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
	22.77	10.5	9.0	-	>9.0	285	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	27.77	9.5	5.3	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑤
29P/Schwassmann-Wachmann											
Jan.	15.76	12.9	1.9′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑥
	16.80	14.1	2.3	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑦
	17.76	12.8	1.8	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑥
	18.74	14.1	2.3	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑦
	20.70	13.7	3.0	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②⑦
	22.76	12.2	2.7	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑥
	27.77	12.2	3.6	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑥

2026	UT	ml	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
40P/Vaisala											
Jan.	17.84	15.1	0.2′	-	4.0′	280°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.81	15.0	0.2	-	4.0	280	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.83	14.7	0.2	-	4.0	280	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
210P/Christensen (写真 c)											
Jan.	15.77	14.4	1.1′	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑧
	16.83	13.7	0.45	-	8.5′	295°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	18.79	13.3	0.45	-	7.0	290	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.81	15.2	0.44	-	6.0	285	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
218P/LINEAR											
Jan.	20.82	14.1	0.3′	-	-	-	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
235P/LINEAR											
Jan.	16.82	12.0	0.5′	-	>5.0′	275°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.77	14.4	0.9	-	0.8	260	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑧
	22.82	13.0	0.5	-	>6.0	270	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	27.77	13.9	1.2	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑧
240P/NEAT											
Jan.	16.55	14.4	0.5′	-	1.5′	85°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.50	14.5	0.5	-	1.5	90	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.47	13.5	0.5	-	1.5	90	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.56	14.0	0.5	-	1.5	90	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
240P-B/NEAT											
Jan.	16.55	16.7	0.1′	-	0.8′	85°	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.50	16.9	0.1	-	0.8	90	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	20.47	16.1	0.1	-	0.6	90	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.56	17.0	0.1	-	0.6	90	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
3I/ATLAS (写真 d)											
Jan.	15.76	12.8	1.5′	-	2.0′	94°	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑨
	16.74	10.4	3.0	-	>6.0	95	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.70	10.5	2.5	-	>6.0	95	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	17.76	12.6	1.5	-	1.3	100	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑨
	20.64	10.9	2.5	-	>6.0	100	3/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.68	11.6	2.5	-	>6.0	100	4/5	3/5	0.4m-RC*	嶋邦博	①②
	22.76	12.9	1.4	-	1.2	105	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑨
	27.76	13.3	1.4	-	-	-	-	-	EOS6D**	張替憲	③④⑨

＊ 40-cm F8.0（レデューサー使用 F6.5）リッチークレティアン反射＋FLI ML8300（2x2 bin, -6℃）。
＊＊ 15-cm F4（レデューサー使用 F2.5）反射＋デジタル一眼 Canon EOS 6D。

① 観測地:長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。② 光度、コマと尾の形状確認:10-60×60 秒露出スタック。③ 15 cm F2.5 反射+Canon EOS6D の G 画像を Makali`i Ver1.4a と Guide 9.1 にて測光。観測地は千葉県横芝光町の九十九里海岸。④ 露出 40 秒（20 秒×2）。⑤ 青く強い集光のあるコマが拡がっている。⑥ 集光が弱く拡散している。⑦ Snail shape ⑧ 集光が弱い恒星状。⑨ 強く集光したコマから東に短い尾が伸びている。

※ 全ての光度等観測は、次を参照。
https://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm

※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。